

みどりの杜俳句会

山の道曲るや木下闇深し

佐山ケサ子

夏燕杜の庭空旋回す

白石 礼子

炎昼や駅前兜太句碑除幕

松本 孚子

穂の長し今が盛りの栗の花

梅澤喜久枝

お蚕の二眠やかて飯母作る

吉田 愛子

山坂を登り額に汗流る

今村千鶴子

ひぐらしの声聞く度に淋しかり

飯野はつ志

裏山の木を切り風の涼しかり

西 つる

大葉盛り上っていたりかぼちゃ畑

木村 弘子

屋根たたく大雨つづきて戻り梅雨

高橋 ツ子

織姫に健康第一願ひけり

鈴木 啓子

パズルして達成感あり梅雨晴間

田村 好子

雨上がりしの字に下がる糸瓜かな

小宮 勉

眠り草触れて眠らせ庭仕事

関口 侑子

道縁りの高き鬼百合支柱あり

野口利江子

子とテニス鍛錬朝より猛暑かな

岩崎 真人

百日紅仰ぎ出発歩行りハ

小林 和幸

さうめんに添へて星形玉子焼

大竹 裕也

草むらにまむし草の実まだ青し

岡部富美子

天ぶらに初採り隠元一握り

鯨井 和枝

窓越しの見る間に高し雲の峰

土屋 厚子

山法師葉上に青実立ち並ぶ

初雁 功子

結果の竹立て盆棚出来上る

野澤 昇

土用芽の梢に触れて雲走る

山田 美子



人権シリーズ

395

『「あだ名禁止」について考えること』

最近、「あだ名」を禁止にする学校が増加していると
 ニュースやインターネットで目にするものが多くなり
 ました。友達をあだ名で呼んだり呼び捨てにせずに、「さ
 ん付け」で呼ぶように奨励している学校が近年増えて
 いるそうです。その背景には、「あだ名」は身体的特徴
 や失敗行動を蔑視、揶揄するようなものがあり、いじ
 めにつながるおそれがあることが大きな理由です。

私が子供の頃にはあだ名で呼ぶ、呼ばれることが当
 たり前で、そのことを意識することはあまりなかった
 ように思います。でも、つけられたあだ名で呼ばれる
 ことが嫌でも、それを友だちや先生に言えず、ずっと
 我慢していた子もいたと思います。

あだ名は、本来親しみを込めて呼ぶものであり、子
 供同士が仲良くなれるツールでもあります。呼ばれた
 相手が不快に思わないことが、あだ名で呼ぶ最低限の
 ルールであり、相手が嫌がつているあだ名で呼び続け
 ることは、あだ名ではなく悪口になってしまいます。
 相手をどう呼ぶかは、呼ばれた相手がどう感じるか、
 どう受け止めるかを考え、想像することが大切だと思
 います。

「あだ名禁止」が良いか悪いかは、あだ名にいい思い
 出があるかどうかなどによっても感じ方が変わってく
 ると思います。どちらにしても、子供の頃から相手を
 尊重するという心を育て、相手の気持ちを考えて行動
 する、嫌なことを嫌だといえる関係づくりが大切だと
 改めて感じ、少しでもいじめが減り、子供たちが楽し
 く学校へ通えるような温かい世の中であってほしいと
 願っています。

教育委員会事務局 笠間 利恵

東秩父村教育委員会開催のお知らせ

日時 9月27日(火) 午後1時30分～

場所 役場2階新会議室

問合せ 教育委員会事務局 ☎82-1230

